

タイトル：「新芦屋下コンバージョン・コーポラティブ住宅」にみるあらたな豊かさ

講師：伴年晶（VANS顧問、あじあーき代表）

司会：石沢春彦

実施日：8月23日（土）13：30～16：30

実施場所：大阪産業創造館5階・研修室E

参加者：18名

●社宅である单身寮をコーポラティブ方式で分譲マンション「マインツ」にコンバージョンかつリノベーションされました（伴さんはCCH=コンバージョン・コーポラティブ・ハウジングと呼称）。今回の講座は、建築家の伴年晶さん自らによる取り組み事例の紹介です。このようなリノベーションは過去に事例がありません。その先進的業績に対して「住まいのリフォームコンクール最優秀賞・国土交通大臣賞」も受賞しました。

●講演概要

* 設計の概要

・コンバージョン前：築27年の单身寮23室+1F：共用室群

・コンバージョン後：

1F：3戸、2F：2戸、3F：2戸と別棟で戸建て1戸 計8戸

3Fには、ゲストルームにもなる1住戸分集会所

* リノベーションの特徴

- ・「対話を重視した設計の」コーポラティブ方式によるファミリー向け分譲マンションに転換
- ・基本は、住棟の床・壁・柱・屋根の主要部は変更せず、間仕切り床仕上げ、壁の変更で対応。さらには、既存寮の部屋5室ほどを活用していることでコスト調整
- ・外壁を移動させ、バルコニーの奥行を増し、かつ、かつての部屋も取り込んで半屋外化している
- ・屋外敷地には、希望にこたえて木造戸建て一戸を新規に建設
- ・リノベの前に浴室など既存備品を東北の被災地へ届けた

* 組合員からみて・・・

- ・既存建物の間仕切り除去工事前の躯体フレームの中に入り、組合員みなで体感しながら議論し自分のイメージを膨らませることは、これまでのコーポになかった経験を積んだ
- ・組合員の家族ぐるみの家作りに参加
- ・住み手の感想

「必要なときに話やすい存在という程度の肩のこらない近所づきあいをしています・・・」